女と男の情報紙
HIMAWARI
Women & Men Information

ひまわり

Vol.35
2023.3.1

特集

男女共同参画社会の実現に向けて
市民意識調査を実施！
～市民の意識は変わったのか？～



写真「やさしさにつつまれて」　大浦　京子さん（本石）撮影

第17回 熊谷市男女共同参画推進表彰

昨年11月に開催した「第43回フォーラムくまがや2022」において、男女共同参画の推進に貢献する取組が評価され、2つの事業所と個人2名が表彰されました。本表彰は、熊谷市男女共同参画推進条例に基づき、平成18年度から実施しており、男女共同参画社会の実現に向け、積極的に男女共同参画の推進に関する取組を実施している市民及び事業者を表彰するものです。（順不同）

医療法人 いのクリニック

始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度を導入し、子育て中の職員等が安心して仕事と育児等を両立することができる環境づくりに取り組んでいます。また、「埼玉県多様な働き方実践企業」認定制度のシルバー認定を受け、全ての職員が長きにわたり自分に合った働き方を選び活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。



熊谷観光ゴルフ株式会社

始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度を導入するなど、職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。また、社内会議における女性の意見を積極的に取り入れ、風通しの良い職場環境づくりを行い、年齢にかかわらず生き生きと働き続けることができるためのワーク・ライフ・バランスを推進しています。



加藤 道子 氏

長きにわたり熊谷市男女共同参画推進センター相談事業に対し指導・助言等を行い、弁護士としての専門的知識と経験を活かし、相談者を支援することで、男女の人権尊重に尽力しました。また、熊谷市男女共同参画審議会委員として、長年にわたり市の男女共同参画の施策について助言等を行うことで、男女共同参画の推進に大きく貢献しました。そのほか、男女共同参画に関する講座の講師として、市の職員や多くの市民に対し、その理念の普及・啓発に取り組んでいます。



八木 奈都子 氏

「自分の好きなこと」「得意なこと」「地域に良いこと」を仕事にしたいと考える女性を支援するための連続講座「オシゴト」を開催。女性の活躍の場を広げ、生き生きと働くことを支援することで、地域の活性化につなげる取組をしています。子育てをしながら、定年退職後、または〝複業〟として、女性が自分に合ったスタイルやペースで働き方を選び活躍できる社会づくりに取り組んでいます。



男女共同参画社会の実現に向けて 市民意識調査を実施！ ～市民の意識は変わったのか？～

熊谷市は、性別にとらわれず互いに尊重しあい、ともに支えあい、その個性と能力を発揮できる社会を目指す「男女共同参画宣言都市」です。

皆さんは、「くまがや男女共同参画推進プラン」を知っていますか？プランでは、男女共同参画に関する施策を計画的に進めるため、主要課題と目標値を定めており、5年ごとに行われる「市民意識調査」を基に見直しを行っています。今回は、今年度実施した調査の項目を目標値と照らし合わせて見てみましょう。



調査概要

- 対　　象　熊谷市在住の18歳以上の男女3,000人（男女各1,500人）
- 抽出方法　住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- 回収結果　有効回収数：1,267人　　有効回収率：42.2%

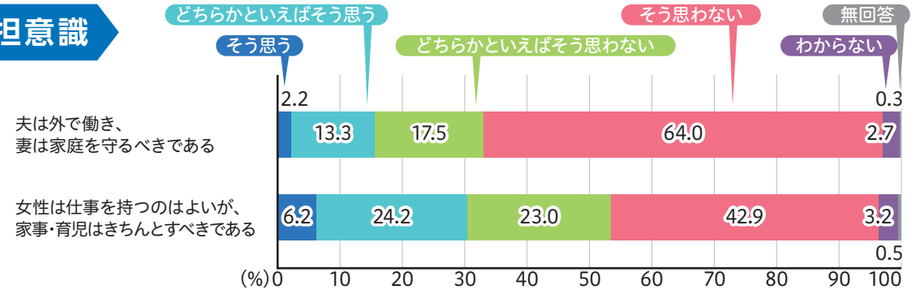
1 男女の役割分担意識

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担に同感しない市民の割合

（2017年度調査）　（現状値）
63.5%　81.5%

プラン中間目標値 2023年度 70%

プラン最終目標値 2028年度 80%



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」という考えが合わせて81.5%となり、5年前の調査（63.5%）から18ポイントもアップしています。これはプラン最終年度の達成目標値を超える結果となり、家庭での男女共同参画意識が向上していると言えるでしょう。



でも、「女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである」と考える人の割合から、家事・育児はやっぱり女性の仕事と思っている人がまだいるということがわかるね。意識と実態にはギャップがあるね。

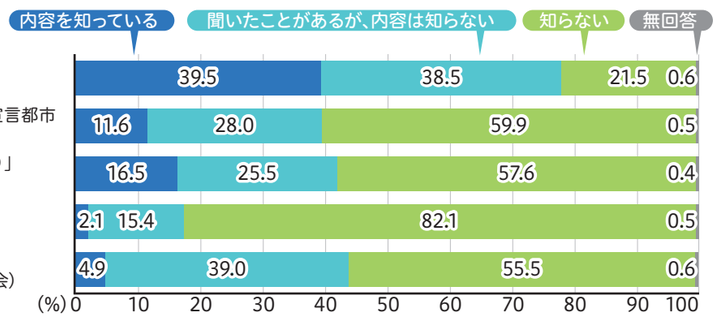
2 男女共同参画に関する「ことがら」や「ことば」の周知度

「男女共同参画社会」という言葉の周知度

（2017年度調査）　（現状値）
63.2%　78.0%

プラン中間目標値 2023年度 70%

プラン最終目標値 2028年度 80%





「男女共同参画社会」という言葉を知っている人の割合は78%となり、5年前の調査（63.2%）から14.8ポイントアップしています。これはプランの中間目標値を超え、最終年度の目標値までもう一息です！一方、熊谷市の取組（情報紙「ひまわり」、女と男のセミナー、フォーラムくまがや等）についてはあまり知られていないことがわかりました。

3 DV（ドメスティック・バイオレンス）について

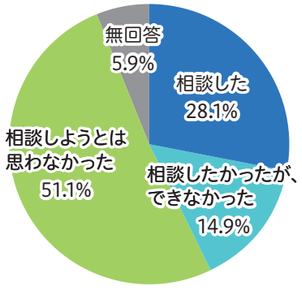
配偶者などから暴力（DV）を受けた際に相談した市民の割合

（2017年度調査）　（現状値）
45.0%　28.1%

プラン中間目標値 2023年度 50%

プラン最終目標値 2028年度 70%

DVを受けた際の相談の有無

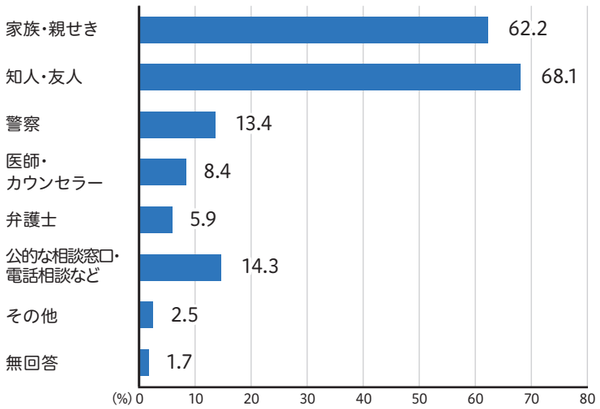


DVを受けたことがある人の相談では、「相談しようとは思わなかった」が51.1%と最も多く、「相談したかったが、できなかった」が14.9%となり、合わせて66%の人が相談していないという現状がわかりました。相談した人は28.1%で、目標値には及びませんでした。

相談しなかった主な理由は、「相談しても無駄だと思った」「自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思った」などがあり、最も多かったものは「相談するほどのことではないと思った」でした。

〈配偶者などからの暴力（DV）の事例〉
「精神的暴力（どなる、暴言、無視するなど）」（29.5%）が最も多く、次いで「身体的暴力（なぐる・ける・たたくなど）」（17.4%）、「経済的暴力（生活費を渡さない、働くことを許さないなど）」（8.2%）などの順となりました。

DV被害者の相談相手（複数回答）



DVを受けたことがある人の相談先は、「知人・友人」が68.1%と最も多く、次いで「家族・親せき」が62.2%でした。

一方、専門機関への相談割合は「公的な相談窓口・電話相談など」が14.3%、「警察」が13.4%、「医師・カウンセラー」が8.4%と低いことがわかりました。



「相談する人がいなかった」「誰（どこ）に相談してよいかわからなかった」などの回答もありました。一人で悩まず、どんな小さなことでも、一度「ハートピア相談室」にご連絡ください。皆さんのお力になれることがあると思います。

※相談先は4面をご覧ください。　詳しくはこちら

子どもの見ている前での暴力は虐待です





面前DVは、子どもに深刻な被害を与えます。脳に大きなダメージを与えたり、心的外傷（トラウマ）として残り、心の発達に影響します。「親の暴力は自分が原因である」と誤って捉え、無力感や罪悪感を持ってしまいます。自己評価が低くなり、対人関係がうまく築けなくなったり、感情のコントロールがうまくいかなかったりします。また、暴力で解決することを学び、問題行動や反社会的行動につながりやすくなります。将来、DV加害者や被害者となってしまうおそれがぐっと高くなります。子どもを守る視点からも、専門機関に相談することが大切です。

市民意識調査にご協力いただいた市民の皆さん、ありがとうございました。男女の役割分担意識や男女共同参画に関する「ことがら」や「ことば」の周知度の調査結果から、市民の男女共同参画の意識が向上していることがわかりました。男女共同参画社会を実現するためには、今後も熊谷市の取組やDV等について正しい知識を広く周知する必要があり、また、セミナーや講演会等に気軽に参加してもらえるような工夫が必要だということもわかりました。一人ひとりが男女共同参画を意識し、「男女（とも）に認めあい 支えあい 責任を担い 生き生きと暮らせる都市」を一緒につくっていきましょう！

※目標値や現状値等の詳しいデータは、熊谷市ホームページで閲覧できます。

輝いてます！

街で出会ったいきいきさんをご紹介します

「植物の力を活かし熊谷で暮らす」



㈱花音の森
代表取締役 堀 久恵さん

熊谷の夏をエアコン無しで過ごしたい」と聞いたら「無理。無謀。やめたほうがいい」そんな声が聞こえてきそうです。ところが、堀久恵さんは3年前から実践しているのです。

生花店勤務を経て、「ガーデンデザイン」「ハーブ」「アロマセラピー」、そして植物を暮らしに取り入れ心身を癒す療法「ガーデンセラピー」を学んだ堀さん。起業しガーデンセラピーに基づいた暮らし方を提案する講座の講師や、庭づくりのアドバイザーとして活躍中です。

そんな堀さんが、3年前自宅を新築するにあたり考えたのは、植物を利用して、ここ熊谷でエアコンに頼らない、環境にやさしい暮らしをすることはできないか、ということでした。昔は家の周りに、防風・遮光・目隠しのため、工夫して木が植えられました。昔ながらの知恵と堀さんの植物の知識を活かし、まずは庭の植栽と建物をトータルで設計したとのこと。

リビングは東南向きで大きな窓があり、窓の外には山ブドウが植えられています。夏には蔓が伸び、青々とした葉が生い茂り、庇の役目を果たしてくれます。そして、家全体を覆うように樹木を配置。夏は建物に直接日光が当たらないようにし、室温上昇を防ぎます。家の壁は調湿効果のある漆喰を使用しているので、夏の湿気も軽減。実験的にエアコンを取り付けず、3年間扇風機で過ごせているそうです。冬になると、落葉樹の葉が落ち、リビングには暖かい日差しが差し込みます。

堀さんは、「庭で出たものはゴミにしないこと」も心がけています。落ち葉はそのまま庭の栄養に。木の剪定や草刈りも最小限。部屋には剪定した木の枝や実、伸びた蔓を使ったリースが飾られ、自家製のハーブティーでもてなしてくださった堀さん。植物の恵みを余すことなく享受し、植物の力を活かした豊かでサスティナブル(注1)な暮らしです。

何の対策もなしにエアコンを使わないのは危険ですが、少しでも熊谷で快適に過ごすにはどうしたらよいか、堀さんの取組がヒントになりそうです。

(注1)……持続可能



冬の庭



夏の庭

ひとりで悩んでいるあなた、一度相談してみませんか？

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力(DV)に悩んでいる方、自分が我慢すればと思わずに、相談してください。どんな小さなことでも、相談員がお聴きし、一緒に考えます。電話相談は匿名でもお受けしていますので、まずはお電話ください。

詳しくはこちら

◆ハートピア相談室　☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・面接相談（予約不要）	月～金曜日、第1・第3土曜日（祝日、年末年始を除く）	9:00～17:15
弁護士による相談（要予約）	隔月1回（偶数月）	10:00～11:30
臨床心理士による相談（要予約）	毎月1回　第4金曜日（祝日の場合は変更）	9:00～16:00
保健師による相談（要予約）	毎月2回　第2・第3水曜日（祝日を除く）	13:30～15:30

（各相談とも、無料・秘密厳守）

「消しゴムハンコでご挨拶」

関口 春美さん（高柳）の作品



◆◆◆ 募 集 ◆◆◆

★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵・写真・その他の作品を募集します。
★「輝いてます！」(市内で活躍されている方の紹介)のコーナーに登場してくださる方を募集しています(自薦・他薦は問いません)。
※両募集とも、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、ご了承ください。
★本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

【応募・問い合わせ】
〒360-0037
熊谷市筑波三丁目202番地 ティアラ21(4階)
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
・TEL　048-599-0011
・FAX　048-599-0012

編集後記

ひまわりも今回で35号を迎えることとなりました。

本号は、男女共同参画社会の実現に向けた市民意識調査の結果から見える現状や課題について取り上げました。中でも男女の役割分担の意識調査では、大変興味深い結果となりました。性別による役割の分担ではなく、「パートナーとして協力し合い、お互いを尊重しながら暮らす」という新しい価値観や生活スタイルに変わったと言えます。社会や企業が個人を尊重することで、意識と実態のギャップは解消し、個人はその個性や能力を発揮出来るようになり、より良い社会になっていくことでしょう。

(石井)

〈編集員〉
秋元 留美子　石井 孝佳　井上 紀子
坂東 輝美　吉田 知重子

■発行日　令和5年3月1日(年2回発行)　■発行　熊谷市　■編集　男女共同参画室(ハートピア内)・「ひまわり」編集員会
「ひまわり」Vol.35は、71,500部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり6円です。

PRINTED WITH SOY INK
環境にやさしい大豆油インキ